

小規模事業場向け有機性排水処理技術分野の 進捗状況及び今後の予定について

1. 平成 19 年度の進捗状況

(1) ワーキンググループ (WG) 開催経緯等

平成 18 年度から小規模事業場向け有機性排水処理技術分野では、手数料徴収体制で環境技術実証モデル事業を実施した。

平成 19 年度も引き続き、手数料徴収体制で同分野の環境技術実証モデル事業を実施している。

19 年 6 月 28 日	平成 19 年度第 1 回 WG 開催 (実証機関への申請団体からのヒアリング、実証機関の選定等)
7 月 19 日	実証機関の選定結果公表及び実証対象技術の募集開始

(WG 検討員名簿は資料 1-2-2 参照)

(2) 実証試験状況等

実証運営機関：財団法人日本環境衛生センター

実証機関の公募を行い、下記 2 機関を今年度の実証機関として選定した。

実証機関：大阪府

中核となる機関名：大阪府環境農林水産総合研究所

実証対象技術：(募集中)

実証機関：社団法人 埼玉県環境検査研究協会

中核となる機関名：社団法人 埼玉県環境検査研究協会

実証対象技術：(募集中)

2. 今後の予定

8 月上旬まで実証対象技術の募集を締切り、9 ~ 10 月に実証対象技術の審査、実証試験計画の策定を行う。

平成 19 年度環境技術実証モデル事業検討会
有機性排水処理技術ワーキンググループ 検討員名簿

藤田 正憲	高知工業高等専門学校 校長
岡田 光正	広島大学大学院工学研究科 教授
中井 尚	(社)日本フードサービス協会 事務局長、業務部長
名取 眞	(社)日本産業機械工業会 国際環境技術協力センター 顧問